

あごが



第2回定例会

決まったこと 補正予算・主な質疑 >>> P.2

条例改正等 >>> P.4

一般質問 2人が町政を問う >>> P.5

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.8

まちの元気 地域おこし協力隊 澤さん >>> P.10

和東保育園で夏まつり

補正
予算

凍霜被害茶園の助成や コロナ関連の予算を追加



4月に凍霜被害を受けた茶園は、約300ヘクタールにも及んだ。茶農家を支援するため、茶園10アールあたり4000円を支給する。

**凍霜被害茶対策
に1200万円**

令和3年度補正予算では、一般会計で7930万円、特別会計で1816万円が増額され、主に一般会計の補正内容について審議が行われました。



空家バンク掲載中の物件

新婚世帯や多子世帯、三世代同居等に対して住宅購入時のリフォーム工事費用や購入・賃借時の仲介手数料に係る費用を支援する。

**移住・定住促進
に460万円**

第2回定例議事を6月16日から23日まで開会し、町長提出の令和3年度補正予算、令和2年度補正予算（専決）、5件の条例改正を審議、可決しました。議員発議では、1件の条例改正、3件の意見書が提案され2件を可決し、2件を否決しました。

コロナ関連（主なもの）

- ・ **感染症対策地域支援補助金 796万円** → 各地域の状況に応じ、コロナ対策（各区公民館に空調施設の整備など）を実施された地域に対し補助金を交付する。
- ・ **ワクチン接種事業 656万円** → コロナウイルスワクチン接種に係る医師、看護師、薬剤師への謝金等の費用。
- ・ **PCR検査費用助成金 360万円** → 感染の有無に不安がありPCR検査を実施した場合に費用の2/3を助成する。
- ・ **車いす対応福祉車両整備事業 250万円** → 感染症対策を施した車いす対応福祉車両を購入。
- ・ **低所得子育て世帯生活支援特別給付金事業 220万円** → 低所得子育て世帯への生活支援特別給付金を支給。
- ・ **新生児応援特別給付金事業 150万円** → コロナ禍が長期化する中、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに出生した新生児に対し、1人10万円の特別給付金を支給。
- ・ **役場窓口記載台整備事業 107万円** → 役場窓口で密を避けるため大型記載台を購入。

主な質疑

問 4月の凍霜被害茶園補助金について、その内容は。

答 被害茶園に対して反当たり4000円を助成する。JAの茶業部会を通じて実施する。

問 今後不測の被害に対する町の補助の導入も検討し、収入保険制度への加入を進めていく考えは。

答 青色・白色の申告の問題も含めて、制度設計の理論を考えていく必要がある。

問 凍霜害の支援策の実行が、遅すぎるとは。

答 大いに反省し、今後善処できるように努力する。

問 収入保険以外で、農家の生産費全体の補填も含めて、直接支援の必要性について、国・府に要望されているのか。

答 JAや共済組合と連携して険しい中山間地での茶業を維持できる支援策を国に要望している。

問 コロナ対策地域支援補助金796万円の内容は。

答 各地区で空調整備などのコロナ対策を行なう費用。

問 コロナ検査費用の助成金について、その内容は。

答 PCR検査費用の2/3を町が負担、残り1/3は

個人負担とし、一人一回限りとする。

問 抗原検査も助成対象になるか。

答 抗原検査は採種に負担がかり、陽性の場合PCR検査が必要になるので、助成できない。

問 コロナの接種券を個別の申請によって配付しているか。

答 基礎疾患のある人や仕事の都合上早く接種を希望する人に対して券を発行している。

問 低所得子育て世帯生活支援特別給付金及び新生児応援特別給付金について、内容は。

答 子育て給付金の方は、非課税世帯の家庭に子供一人につき5万円支給するもので、新生児給付金は、昨年度に引き続き3年度において

国保診療所でPCR検査はできないか。また補助を受けて定期的に検査できないか。

答 感染リスクの観点から難しい。また予算面から複数回補助を受けるのは難しい。

問 コロナ対応の新生児給付金を祝い金制度にできないか。また学生への支援も厚くできないか。

答 それらは、コロナ対応とは別の問題として検討していく。

問 簡易水道の経営戦略は、平成28年以後どう改定されたか。

答 改定は見直し中だが、令和5年の企業会計移行に際して料金対策の交付金はどう変化するか見えないので見直しは困難だ。

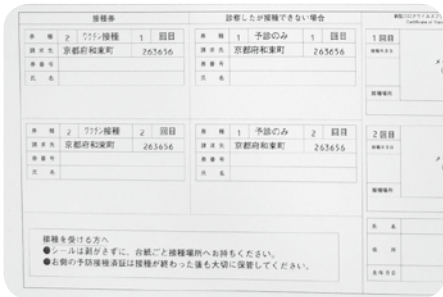
ても生まれた方を対象に一人10万円給付します。

問 簡易水道の経営戦略は、平成28年以後どう改定されたか。

答 改定は見直し中だが、令和5年の企業会計移行に際して料金対策の交付金はどう変化するか見えないので見直しは困難だ。

問 簡易水道の経営戦略は、平成28年以後どう改定されたか。

答 改定は見直し中だが、令和5年の企業会計移行に際して料金対策の交付金はどう変化するか見えないので見直しは困難だ。



コロナワクチン接種券



条例の改正

(4月臨時会・6月定例会)

組織条例の改正

和東町総合保健福祉施設の整備に向け、7月1日付
けで総合施設整備課を設置

税条例の改正

個人町民税の非課税範囲
の改正や軽自動車税環境性
能割税区分の見直しなど

国民健康保険税条例 の改正

国民健康保険税率の改正
に伴う軽減率の改正

指定地域密着型サー ビスの事業の人員、 設備及び運営に関す る基準等を定める条 例他1件の改正

介護保険法に基づく改正

介護保険条例の改正

新型コロナウイルス感染
症により、著しく収入が減
少した第1号被保険者の介
護保険料減免措置を令和3
年度も引き続き実施

議員提案

・和東町議会委員会条例の一部改正

和東町組織条例の一部改正により、総合施設整備課が新設され
た事に伴い、議会委員会条例の所管事項を改正。

提出者 岡田 勇議員 賛成者全員で可決

意見書

第2回定例会(6月)に次のとおり意見書が提出され①意見書
は所管大臣等に送付しました。

①J R 大和路線の利便性維持について国の積極的な関与を求める
意見書

提出者 総務厚生常任委員長 村山一彦 議員

可決

賛成者 全員

②東京オリンピック・パラリンピックの開催中止を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 1人
反対者 8人

③医療提供体制の抜本的な拡充を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 1人
反対者 8人

各議員の賛否

令和3年第1回臨時会(4月)、第2回定例会(6月)に提出された議案のうち賛否が
わかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡本 正意	畑 武志	小西 啓	岡田 泰正
可決	本	和東町組織条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
否決	本	東京オリンピック・パラリンピックの開催中止を求める意見書	×	×	×	×	×	×	○	×	×	-
否決	本	医療提供体制の抜本的な拡充を求める意見書	×	×	×	×	×	×	○	×	×	-

※会議区分 本は本会議 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない
岡田泰正議長は本議会の採決に加わらない。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

6月16日に行った一般質問には、2人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①高山豊彦議員（6ページ）

1. 新型コロナウイルスワクチン接種の状況は
2. 交流ステーションの運営を問う
3. 総合保健福祉施設計画を問う

②岡本正意議員（7ページ）

1. 茶の凍霜害への支援を
2. 新型コロナウイルス感染封じ込めへ対策強化を
3. 水道料金値上げ中止を



一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。





65歳以上の高齢者の新型コロナワクチン接種の申請状況は。

高山 豊彦 議員

町長

現在、1605人で、
高齢者人口の約91%の申し込がある。

問 接種会場に行けない高齢者等の訪問接種体制は。

答 福祉課長

当日の急なキャンセルの分も活用しながら、希望される患者様への往診接種をお願いしている。

問 集団接種の受付締め切り日（4月30日）以降の希望者の受付は。

答 福祉課長

コールセンターで随時受け付けを行っている。

問 高齢者以外の方の接種の進め方は。

答 福祉課長

8月より基礎疾患のある方や高齢者施設にお勤めの方を優先にコールセンターとWEB等で予約を受付、和東B&G海洋センターで集団接種を計画している。

問 基礎疾患のある方等を優先して接種できないか。

答 福祉課長

8月上旬から65歳未満の接種を予定、その早い日程で計画している。また、8月中に一般接種の終了に向

け計画している。

問 国の大規模接種会場でも接種券があれば18歳以上の申請が可能となったが、早く接種を希望される方への対応が必要では。

答 福祉課長

基礎疾患のある方等、個別相談し対応したい。

問 職域接種を希望される方への対応は。

答 福祉課長

職域の方で名簿等を整理し国・府と調整されると聞いている。

問 交流ステーションの運営を問う

問 交流ステーションの設置目的は。

答 副町長

和東茶以外の町内の農産物や加工品の出品、住民のチャレンジできる場所を提供し、町内外の方の自由な交流の場所としたい。

問 運営組織の構築状況と施設のオープン時期は。

答 農村振興課長

4月4日に「和東の郷協

議会」として設立総会を開催され、オープンは7月21日を予定している。

問 出展希望者数や出品商品等の内容は。

答 農村振興課長

現在会員数は41名で、野菜・花木・手工芸品・加工食品の漬物やジャム・ハーブ等の出品。その他、ハーブの入れ方等体験教室も検討されている。

問 年間を通して売上金等から月額8万円の施設使用料の拠出は可能か。

答 副町長

事務局長等の指導に基づき定期的に問題点を洗い出し運営を進めたい。

問 計画の進捗状況と今後の進め方は。

答 町長

総合施設整備課を立ち上げ、関係条例の整備や委員会等の組織づくりなど建設に向けて事務を進めたい。

答 福祉課長

プロポーザルの関係委員の選定や基本設計と実施設計等に係る予算等の準備を進めている。

問 施設へのアクセス道路の整備は。

答 建設事業課長

建設予定地周辺整備として町道中溝役場線の拡幅改修を検討している。

問 ハザードマップでは府道の浸水も想定されている。南部幹線から大型車両の進入も検討が必要では。

答 建設事業課長

グリーンロード21の計画に基づき、国土強靱化の補助事業も活用しながら検討したい。



交流ステーション

総合保健福祉施設整備計画を問う



茶の凍霜害・「これまでにない」事態の認識で、基幹産業の危機を支える対策を

岡本 正意 議員

当面は肥料代補助を実施。今後、何ができるか検討している。

町長

問 被害の実態は。

答 農村振興課長
被害面積が約300ha、金額で約3.5億円と見込んでいる。

問 「これまでにない」事態との認識で、今後の対策や生産のあり方の研究、検討を。

答 農村振興課長
これまでにない事態と認識している。茶農家や関係機関と連携し対策に努める。

問 町の支援策の内容は。

答 町長
樹勢回復を目的に10a当たり4000円の肥料代助成を行う。

問 一番茶までに使用した肥料等の経費、次期作に向けた補助等、生産費への直接支援が必要では。

答 町長
それも一つだが、行政、農家それぞれ考える必要がある。



問 被覆棚、防霜ファン設置経費へ町独自に上乗せを。

答 町長
現行以上の上乗せは検討していない。

問 せめて町が1割補助することは十分可能では。

答 農村振興課長
使いやすい制度設計は大切と考えている。

新型コロナウイルス封じ込め対策強化を

問 感染症対策の要・検査の積極的実施へ①個人検査補助の自己負担軽減を

②医療機関、保育園、児童クラブ、介護事業者、観光や学校関係者の定期的検査を。

答 町長
①内容を精査、検討中②方法や手法等を考察している。

答 福祉課長
保育園は検討している。

問 医療診療体制強化へ①原則入院、最低でも施設療養の保障を②自宅療養者の町独自のサポート体制整備を

答 町長
①病床の増床を要望している。

答 福祉課長
②サポート体制は準備している。保健所に確認したい。

問 命の危険と犠牲を強いる病床削減、75歳以上医療費2倍化、東京五輪開催強行に抗議し中止要請を。

答 町長
公立病院での病床数の方向性が大事。五輪は、国民

の命の犠牲、感染拡大はあってはならないを前提に努力するのは当然。その中で開催されようとしている段階で一市長が中止をいう軽率な問題ではない。

水道料金値上げ中止を

問 料金値上げ案が示されたが、住民への情報開示、説明、意見聴取等の対応は。

答 建設事業課長
来年4月改定を目標に広報を行う。

問 コロナ禍で生活、営業が大変な中、値上げは許されない。中止を。

答 町長
値上げの要因は急激な人口減少、過疎化による料金収入の激減。9月議会に提案する予定。苦渋の決断であり理解を求めたい。

問 値上げの原因を作ったのは町の責任との認識は。

答 町長
法的にはそうは言えない。

総務厚生常任委員会

総合保健福祉施設整備のため

機構改革

村山
高山・岡本
畑・岡田(勇)

6月4日、令和2年度の主要事業の成果などについて事務調査を行なった。

総務課

○コロナ感染症に係る事業として特別定額給付金を住民一人あたり10万円、3812人に給付、感染拡大防止のため備蓄用マスクやアルコール消毒、アクリルパーテーション等購入。

○避難所となっている和東小学校にマンホールトイレ10基設置。備蓄用食料品の更新。段ボールベッド1000台購入。

○町のホームページを、リニューアルした。

税住民課

○2月1日よりマイナンバーカードの利用により住民票の写しや印鑑登録

証明書が全国のコンビニで交付できるようになった。

○コロナに係る保険料の減免には国保で36世帯、後期高齢で10人の方の申請があった。

福祉課

○インフルエンザ予防接種について全額助成により前年度に比べ接種者が満65才以上は25%、満12才までは58%の伸びがあった。

○診療所ではコロナの影響で外来患者数が前年度と比べると12.5%減少。診療収入も14.7%減額となった。

委員からの意見や質問

問 コロナワクチンの接種状況は。

答 5月24日から集団接種

を始めており、6月初めで1434人が接種している。

問 65才未満の人の今後の接種予定は。

答 7月21日に高齢者集団接種が終了するので、それ以降に計画しているが、ワクチンの配分が確定していないため今後の調整となる。

問 大規模接種会場での接種や職場接種も報道されているが。

答 二重で予約されている人については自身でキャンセルしてもらいたい。職域接種については、1000人規模でないと難しいと聞いている。

問 クラウドシステムとは。

答 戸籍電算化に係るサーバーを庁舎外へ移行した。

問 メリットは。

答 庁舎内にあると維持管理、保守が必要。災害時もデータの保管が可能。

問 マイナンバーの交付状況は、コンビニ交付の状況は。

答 マイナンバーは3月31日時点で718件、コンビニ交付は3月末15件。

一部事務組合議会報告

相楽郡広域事務組合議会

6月2日に第1回臨時会を開催。初めに杉浦代表理事から大谷処理場の新施設での運用を4月1日から開始した。広域圏事業の今後のあり方検討会では、相楽会館改築等計画策定業務の委託にあたり、入札に向けた手続きを進めていると報告があった。議長、副議長の選挙が行われ、議長には南山城村の梅本章一議員を、副議長には木津川市の森本隆議員を選出した。監査委員には、精華町の三原和久議員を選任した。現在、議会運営委員会で検討中の一般質問の取り扱いについては、継続審議となった。



コロナワクチン接種会場を視察

産業常任委員会

町道山口線ついに完成

吉田
井上・藤井
小西・岡田(泰)

6月1日、令和2年度事業実績状況等について事務調査を行った。

地域力推進課

○移住されてこられた方に住宅整備事業補助金を交付した。コロナの影響で田舎への移住相談も多く寄せられている。成約も3件あった。

○農泊受け入れ家庭に、今後も受け入れを続けていただくためコロナウイルス感染予防対策支援をおこなった。

○W M Gプレ大会としてC J U大会が開催され、延べ920人の参加があった。

農村振興課

○体験交流センターの耐震改修工事は一部繰越し、現在内装工事をおこなっている。

ている。

○コロナの支援対策として商品券の交付や茶業経営支援・事業者応援給付金を支給した。

○三国林道の路肩崩落部の維持修繕工事や野生鳥獣被害防止捕獲と侵入防止柵設置の補助をおこなった。

建設事業課

○祝橋の撤去工事や橋梁40橋の点検を実施した。

○原山地区の町道山口線拡幅改良工事は令和2年度をもって事業が完了した。

委員からの意見や質問

問 下水道は供用開始から20年以上経過しているが、マンホールポンプの耐用年数や交換の時期は。

答 15年ぐらいが目途になるが、部分的に入れ替えた

りオーバーホール等で対応している。

問 重要文化的景観調査研究事業について保存していく上で、建物の改修改良の相談はないのか。

答 以前相談はあったが、個人の財産もあるため、なかなか前に進んでいない状況。住民の意見を反映しながら計画を策定していく。

問 W M Gの日程も決定し、本町では5月14日〜16日にマウンテンバイク大会が開催されるが準備の状況は。

答 現在477名のエントリーと66名のボランティアの応募がある。今後も環境整備や町内のボランティア募集、地元住民の協力をお願いしたい。

問 4月初旬に木津信楽線湯船地区内で土砂が崩落したが、注意喚起の標識を設置すべきでは。

答 電光掲示板でのお知らせは上がっていたが、今後京都府と協議調整していく。

一部事務組合議会報告

相楽中部消防組合議会

6月2日に第1回臨時会を開催。初めに河井管理者から引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策の継続に努めていると報告があった。副管理者に和東町の堀町長が就任され、議長には木津川市の森本隆議員を、副議長には笠置町の大倉博議員を選出した。監査委員には和東町の岡田泰正議員を選任した。

補正予算は、新庁舎建設工事の債務負担行為の設定について賛成者多数で可決。加茂高規格救急車の買い入れについて賛成者全員で可決した。損害賠償の報告も2件あった。

山城病院組合議会

4月15日に第1回臨時会を開催。河井管理者から中井院長の退職に伴い、岩本院長が就任され、新体制のもと引き続き新型コロナウイルス感染症対策の徹底と地域の関連機関等と連携していくと報告があった。損害賠償の額の決定について、賛成者全員で可決。それに伴う補正予算も、賛成者全員で可決した。

6月3日に第2回臨時会が開催され、改選された木津川市選出議員の紹介、コロナワクチン接種の状況報告のあと、議長に南山城村の廣尾正男議員を、副議長に木津川市の高味孝之議員を選出した。監査委員には、木津川市の森本茂議員と和東町の畑武志議員を選任した。使用料等徴収条例の一部改正について、産後検診料の見直しによるもので、賛成者全員で可決した。

まちの
“元気”を
訪ねて

お茶は日本の心と知り、和東に参りました

～地域おこし協力隊 澤 翔太郎さん～

今回は、昨年10月から地域おこし協力隊として活動いただいている澤さんにお話を伺いました。

Q 地域おこし協力隊に応募されたきっかけは？

A 和東に移住することを考えていた際に、地域により定着する方法として選びました。協力隊からというより、和東に住むにはこのような制度があるのだと知ってお茶づくしの生活を夢見て応募しました。

Q 和東町に住んでみて印象は？

A 日本の縮図という印象です。古くからの慣習が根強いところ、少子高齢化、あと外圧からでないかと変わりづらい気質など、古き良



き日本が凝縮されていると感じています。これは東京出身で最近まで海外に住んでいた自分にとっては、とても新鮮で好奇心を掻き立てられる環境です。コロナ禍においては、都市に住むこともリスクになりますし、庭で畑をいじっている時や、料理をしていてネギを畑に取りに行く時など何とも言えない豊かな感覚を味わっています。

Q どのような活動をされていますか？

A お茶の研修のため、普段は和東茶カフェで接客などお手伝いをして農家さんやメニューや商品の写真を撮って掲載したり話を聞いて、農家さんとお客さんの橋渡しのような役目ができるばと思っして仕事をしています。(左上の写真のバックには、農家さんの写真にそれぞれ一言が添えられています。和東茶カフェで紹介されています。)

Q 今後どのような活動をしたいですか？

A 一つのまた一つの夢になりますが、石寺の茶畑にプロジェクトクションマッピング(映像や動画を茶畑にスクリーンのように屋外映画館のように映像を映す試み)を投影したいですね。もともとカメラマンだったので和東のお茶に関わる色んな場面をビジュアル面から対外的にPRするような活動ができればと思っています。

(取材 岡田泰正・吉田哲也)

編集後記

桜の開花も早く、新茶の成長も順調な4月10日、府南部に強烈な凍霜害が襲いました。心からお見舞い申し上げます。お茶生産農家は、昨年はコロナの影響で価格暴落、大きな打撃を受けました。しかし茶園の中刈り更新を積極的にに行い、今年に期待をかけました。そこに平成元年以来となる大きな霜害に見舞われました。しかしくじけずに農作業に励んでいます。

「百姓の来年」とよく聞きます。本当にどんな事態に遭おうとも、来年に向かって精力的に頑張っていられる。その強靱な精神力に敬意を表します。

6月議会において、茶農家の方に被害茶畑10アール当たり4000円のお見舞金支給を議決いたしました。些少ですがお受け取り下さる。「明けな夜はない」といいます。希望をもって共に頑張りますよ。

(村山 一彦)

広報編集委員会

委員長	小西 啓
副委員長	村山 一彦
委員	藤井 清隆
委員	吉田 哲也
委員	岡田 泰正

第3回定例会は、9月初旬開催予定。